

日光東照宮陽明門西壁面唐油蒔絵の調査と修理

日時:平成 26 年 12 月 18日(木)

13:10~17:20

場所:東京文化財研究所 地下セミナー室 (定員 100名)

(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 Tel:03-3823-4922)

【プログラム】

- (1)13:20~14:00 日光東照宮陽明門における塗装彩色修理の概要
(公財)日光社寺文化財保存会 浅尾 和年
- (2)14:00~14:30 唐油蒔絵のX線透過撮影による画像調査
東京文化財研究所 犬塚 将英
- (3)14:30~15:00 唐油蒔絵の塗料を構成する成分調査
明治大学 理工学部 本多 貴之
- (4)15:15~15:45 唐油蒔絵の顔料・塗膜構造調査
東京文化財研究所 北野 信彦
- (5)15:45~16:15 唐油蒔絵の修理
油彩画修理技術者 中右 恵理子
- (6)16:15~16:50 唐油蒔絵の調査と修理に関するまとめと今後の課題
(公財)日光社寺文化財保存会 佐藤 則武
- (7)16:50~17:20 総合討論

保存修復科学センターでは、これまで4年間継続して文化財建造物に用いられてきたさまざまな歴史的もしくは伝統的な塗装彩色材料の調査と修理に関する研究会を行ってきました。

今回は、現在、平成の塗装彩色修理が進められている日光東照宮陽明門において昨年夏に218年ぶりに確認された西壁面に描かれた狩野派の唐油蒔絵(油彩画)の調査と修理について、直接関係された方々を講師としてお招きして、最新の情報を提供いたします。ご興味のある方はぜひご参加ください。参加ご希望の方は、平成26年12月12日(金)までに、下記の担当まで電子メールまたはFAXでご連絡お願い申し上げます。

東京文化財研究所 保存修復科学センター伝統技術研究室 (担当:北野・佐藤)

FAX:03-3822-3247 E-mail:m_sato@tobunken.go.jp